



発行所
在京宮崎県人会広報委員会
TEL 03-3222-1448
東京都千代田区九段南4-8-2
富南東ビル

第22号

2010年4月発行



新任のご挨拶

四つの課題に真摯な取り組みを！

在京宮崎県人会会長 榎本郁夫

会員の皆様におかれましては、お元気でご活躍の事とお慶び申し上げます。

私は、昨年一〇月の総会におきまして会長に選任され、在京宮崎県人会の運営を担当させていただくことになりました。私の役割は日高前会長の敷かれた路線を継承発展させ、郷土宮崎と東京のパイプをより一層強く太くする事だと思えます。「ふるさと」を愛する気持ちだけは十二分に持っており、微力ではありますが精一杯務める所存でございます。皆様の暖かいご支援・協力をよろしくお願い申し上げます。

さて今年、年初から「政治とカネ」の問題が政局化し、デフレにあえぐ日本経済の現下、二〇一〇年度予算案の年度内成立が憂慮されましたが、衆院を無事通過し、中国などアジア向け輸出の好調さもあり、当面二番底懸念も薄らいだのではないかと考えられます。初夢ではありませんが正月早々体験したことで印象的な出来事がありました。景気の動向に最も敏感な日本証券業協会等四団体主催の賀詞交歓会に出席致しましたが、昨年とは打って変わって会場はエビス顔一色でした。大発会の株価が日経ダウ一〇一四高で引けた事もあります。が、リーマンショックの激震に直撃された直後の昨年の

賀詞交歓会の会場の暗さに比べまことに対照的でした。

景気が良くなるためには、GDPの六割を占める個人消費が活発化することが何より望まれますが、景気の「氣」が明るくなるかどうかで消費動向もずいぶん変わると思えます。幸いにも、景気の実感を示す「街角景気」は昨年一二月以来三ヶ月連続上昇しており、今年こそ先行きに希望を持って厳しい経営環境に立ち向かいたいものです。

「国破れて山河あり」と申しますが、地方が元気であつてこそ国も栄えようというものです。里山が見直され、故郷を大事にしようという気運が高まっています。全国各地の同窓会や郷土人会等の締めは、「ふるさと」の全員合唱で開きと言うのが定番となっております。人も他の生き物同様帰巣本能を有しており、「ふるさと」一番、おらが国自慢」もその表れの一つでしょう。

東国原知事の発信力のお蔭で、今や宮崎は全国一の知名度を誇るといっても過言ではありません。それゆえ、今のアドバンテージを生かし、会員相互の絆を深め協力しあつて、宮崎の発展に努める事が何より大切だと思います。このため、在京宮崎県人会として、次の四つの課題に取り組む所存です。

〈四つの課題〉

一、会員増強運動の推進

県人会活動の原動力は言うまでもなく会員のパワーそのものです。パワーの原動力は会員数であり、若さであります。わが国が直面している高齢化現象はわが県人会においても例外ではなく、会員増強対策は今や待ったなしの喫緊の課題です。とりわけ女性会員・青壮年会員の加入が望まれます。

二、財政基盤の強化

県人会活動をより一層活性化するためにも健全な財政

基盤の充実が欠かせません。

三、対外発信力の強化

会員による主体的な首都圏での対外発信行動は、宮崎のPR効果ならびに伝播力を強める面で計り知れないものがあると思えます。会員の意識と行動力が必要です。

四、県政活動の支援

「ふるさと納税」運動の定着化に取り組みたいと思います。「ふるさと宮崎」に育まれた私達のせめてものささやかな恩返しです。

これら四つの課題の実効を挙げるために、在京宮崎県人会の皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

さて昨年秋季総会は、初の試みとして実行委員長をはじめ委員全員女性により運営されましたが、女性ならではの気配りが随所に見られ盛会裡に終宴致しました。今年の総会は一〇月九日(土)、昨年同様「土曜日、おひるの開催」にしております。東国原知事もご出席の予定です。会員の皆様、今年も元気でおいししましょう。

わが郷土 日向人のつどい

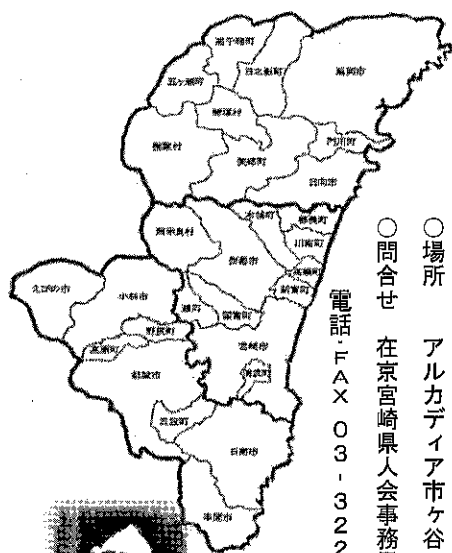
平成二十二年 在京宮崎県人会総会・懇親会

〇日時 十月九日(土)

〇場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

〇問合せ 在京宮崎県人会事務局 斉藤

電話・FAX 03・3222・1448



県人会のこれから

在京宮崎県人会幹事長

松本國利

在京宮崎県人会が維持会員の減少、財政基盤の脆弱等難問が山積する中で、榎本郁夫副会長（延岡市出身）が第九代会長に就任された。役員一同全力で支援申し上げたいと思う。

県人会をどうしたら発展させることができるか。これこそ多年変わらざる課題であり、歴代の会長、役員が丸となって取り組んできた重要なテーマである。

首都圏に在住する宮崎県出身者は、推定で数万人に上るだろうといわれているが年会費を払って県人会に入会している会員（維持会員）は僅かに五〇〇人余であり、しかもその数が次第に減少する傾向にある。

域内には、わが県人会のほか県内各学校の同窓会を始め、市町村民会等多数の会合が設けられている。首都の治安を守る警視庁に県出身者の会があり、市ヶ谷の防衛庁にも同様の会があって、それぞれ活動していると聞いている。

平成十七年十月二十二日帝国ホテルでの、在京宮崎県人会設立百周年記念総会を開くにあたり、その二年ほど前からチラシを配らせていただく目的もあって、これらの総会に出席させていただいた。人口一、二万程度の町ですら出席者が多く、ある市では県人会の総数（毎回二五〇〜三〇〇人程度）より遥かに多数が出席していた。

学校の同窓会や、市町村民会ではクラスメートや幼馴染等親しい人が沢山いるが、県人会ではそれが希薄なため出席をためらうという声がある。

日高啓前会長は高島屋デパートの超多忙な現役社長のまま、会長を引受けて下さった程、郷土愛に燃えた方だったが、今度の榎本会長も宮崎を良くしたいという大変

熱い思いを持っておられ、早速、県人会をどうしたら盛況にさせることが出来るか、自ら筆を取って論点を整理し、自ら人選して「ワーキンググループ」を立ち上げられた。

その第一回の会合で委員から、各市町村民会があれば良いではないか。県人会と市町村民会との関係がよく分らない。県人会に入会したらどんなメリットがあるのか、といった意見が周辺にあるとの発言があった。

県人会に入会したら何らかのメリットがある。私は今、この具現化に注力してみたらどうかと考え始めている。その思い付きが二、三あるが紙面の都合で詳細は別の機会にゆずるとしたい。

県人会はいま何より財政を豊かにすることが先決である。それにはまず維持会員を増やすことに努める。県人会に入会したらこんな具体的なメリットがあると明確に示して、一人でも多くの会員の増加を図るようにしたいと思う。

県人会の役員は利害でやれるものではない。全くのボランティアであるが、県人会活動を通じて、郷土宮崎の発展に寄与するという崇高な目的を持っている。

一人では何も出来ないが、皆が問題点を共有し力を合わせて、難問解決に一步また一步と前進せねばならないと痛感している。



平成二十一年度（第一〇四回） 在京宮崎県人会総会の思い出

実行委員長

寺原ヨシ子

女性だけのスタッフによる初めての総会実行委員長を務めて心に残っている事などを報告します。

メンバー作り、旧実行委員六名に新しく八名を加え二十一年度の実行委員十四名で企画・実行しました。

旧メンバー六名。田中美智子（小林） 宮崎正子（宮崎） 春山ミツ子（都城） 宮川照子（日南） 南久美子（宮崎） 寺原ヨシ子（宮崎）。

新メンバー八名。倉片厚子（都城） 花地芽衣子（都城） 杉田伸枝（小林） 脇岡イセ（小林） 黒木栄子（宮崎） 増田ハツ子（延岡） 加藤利子（美郷） 内野公子（東京）

お金をかけずに楽しいアトラクション作りの考えから、歌手二名インターネットで募集しました。

演歌歌手Ⅱ水木大介さん（高鍋出身）、シンガソングライターⅡ小田ちはるさん（延岡出身）がご出演頂き、総合司会も実行委員の加藤利子さんがつとめました。

また、会場前面の大型スクリーンに宮崎観光の映像を流し、「ふるさとムード」を醸し出すことに努めました。

会場全員の合唱をリードするために、「宮崎県民歌」、「ふるさと」の歌練習、出席者の名簿・名札確認（作り）など等、実行委員としての骨折りもありましたが、総会后、出席者からこんな言葉を頂きました。

・明るく楽しい総会でした。

・ステージに立つ女性実行委員の顔が見られて良かった。

・県民歌を初めて聞いた、良かった。

・会場全員で「ふるさと」の大合唱は最高だった。等

県東京事務所の中嶋さん、井上さん、県人会幹事長、幹事のみなさんに支えられ無事任務を果たせ感謝します。

平成二十一年度

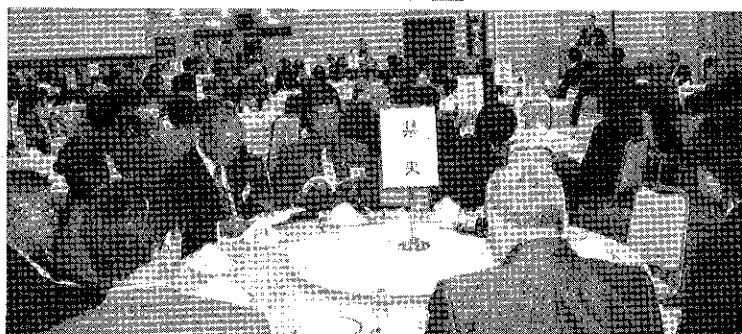
在京宮崎県人会総会 懇親会



寺原ヨシ子実行委員長挨拶



21年度総会実行委員は女性が執り行った

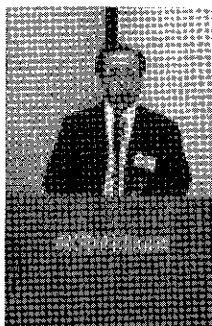
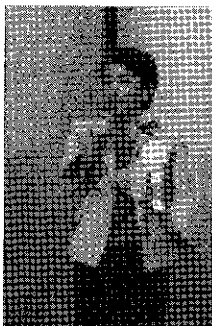


十月二十四日(土)、アルカディア市ヶ谷で行われた総会・懇親会は、寺原ヨシ子委員長のもと女性実行委員だけで執り行われた。平成二十一年度事業報告・収支報告及び二十二年度事業計画案・収支予算案「承認」の後、長年に亘りお骨折り頂いた日高啓会長に代わり、榎本郁夫氏(延岡出身)が新会長に選ばれた。

アトラクションには、歌手「水木大介さん(高鍋出身)小田ちはるさん(延岡出身)が出演、花を添えた。

◆総会風景/日高前会長・榎本新会長・東国原知事・福島大臣 各氏挨拶/賑わった懇親会も時間となり、寺原実行委員長指揮に合せ全員で「ふるさと」を合唱/高山副会長の音頭で「万歳三唱」/再会を誓っておひらき。

日高・榎本・松木の三役員から、盛会裏に終えた寺原実行委員長に「苦勞さん」とねぎらいの言葉。



水木大介さん



小田ちはるさん



「一金会」のあゆみ

新しい人の参加を……

一金会世話人 安藤信一



東国原知事と県政を交えてユーモア



若い女性の参加もあつてにぎわう懇親会

高校の四十年前の恩師古賀先生が駆けつけてきました。かつての教え子の話をうなづきながら聞いておられたのが印象的でした。

懇親会終了後、稲用所長と話し合い、次回新年会の企画として東国原知事の出席を依頼することにしました。二月開催を予定していましたが知事の都合により急遽一月十三日の開催に決まりました。ところがその日の宮崎県東京ビル会議室は先約があり、稲用所長の機転で都道府県会館の広い会議室に移して行うことにしました。会議室の料金が高いので赤字覚悟の決断でした。新しい人達を含めて案内状を送付しましたところいつもの倍近い七十名をこえる人達が集まり、赤字を免れました。結果的には広い会議室を採用したのが正解でした。

東国原知事の話は流石に軽妙な語りぶりで県政の実情などをユーモアをまじえて会場を沸かせました。

今回の一金会は四月十六日（金）農林中金総合研究所社長の佐藤純二先生にお願いすることにしました。演題は「わが国の食料と農業」会場は宮崎県東京ビル会議室千代田区九段南四・八・二 電話・FAX〇三・三二二二・一四四八。今回昭和四十年延岡高校卒業の同期生九十名に案内状を送付しました。どのような結果が出るのか楽しみです。

第四回 「映画鑑賞会」へのお誘い

活性化委員会 永崎秀一郎

在京宮崎県人会では、会員の皆様を対象とした映画鑑賞会を開催致します。ご一緒に名画を楽しみませんか。

上映作品 『若草物語』

アメリカの女流作家ルイザ・メイ・オルコットが、一八六八年に発表した作品で、監督は「哀愁」「心の旅路」のマービン・ローイ。この年のアカデミー賞美術監督賞

を受賞。

南北時代のアメリカ東部マサチューセッツ州コンコードという町が舞台。マーチ家という両親と四人の姉妹の子供達が、織りなす家庭劇である。

日時 四月十七日（土）十四時（定員六十名）

場所 宮崎県東京ビル 千代田区九段南四・八・七

電話 〇三・三二六三・五七五六

会費 三百円（お茶菓子代）映画終了後懇親会を開催します。

申込み 在京宮崎県人会事務局 斉籾

電話・FAX 〇三・三二二二・一四四八

第二回 在京宮崎県人会ゴルフ大会ご案内

宮崎県人会ゴルフ愛好会（会長・松本國利）では、昨年十月南茂原CCで第一回大会を開催。次いで第二回大会を左記のとおり開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成二十二年四月十四日（水）

場所 浜野ゴルフクラブ

スタート 九時二四分 アウト・イン 各五組（新ペリア方式）

プレー代 一三、〇〇〇円（キャディ・昼食代）（朝食や売店は個人払い）

参加費 五、〇〇〇円（賞品代・パーティ代）

交通 （JR京葉線）

東京駅発 七時一五分特急 七時四五分 蘇我駅着

東京駅発 七時三〇分特急 八時〇四分 蘇我駅着

（蘇我駅よりクラブバス）

八時一五分東口発 八時四〇分コース着

《参加申込》在京宮崎県人会事務局（斉籾）

電話・FAX 〇三・3222・1448

ひむかの人 高岡町が生んだ郷土の偉人

ビタミンの父 高木兼寛 (たかきかねひろ)



在京高岡郷人会

本田利弘

病氣を診ずして 病人を診よ

片岡義孝

私が、宮崎県東京事務所主宰で毎年開催される郷土人会に参加をして三年になります。

この郷土人会は、首都圏で宮崎県出身者が集う「在京の会」等の代表者が集まる親睦会です。毎年九月に開催され、昨年は三十五団体五十名くらいの方々が参加されていました。私は、在京宮崎市高岡郷人会代表として参加させていただきました。

会合の自己紹介時に「高木兼寛先生」についてご存じの方に挙手をいただきますと、残念ながら十名もいらっしやらない状況でした。

昨年は、高木兼寛先生の生誕百六十周年、そしてまた、郷土高岡で高木兼寛顕彰会が設立されて十周年を迎えた年でもありました。昨年九月五日〜六日に高木兼寛生誕

百六十周年記念事業が地元で開催されたばかりで、その記憶も新しいことから、郷土人会にてこの質問をさせていただいた次第でした。この状況を宮崎県人会の田原大三様が記憶に留めていただいていたことで、今回このように高木兼寛先生を紹介できる機会をいただきました。この場を借り、改めて田原様には感謝を申し上げます。

私が高木兼寛先生の名前を聞いたのは、もう三十五年も前の小学生の時になるでしょう。しかし恥ずかしながら、就職を機に上京、高岡郷人会に参加し、さらに運営を任されるまで、先生の功績など知る由もなく、知ろうともしませんでした。ひよつとすると、地元で就職していたら、あまりにも身近すぎて永久に先生の功績などに触れることはなかったのかもしれない。

在京宮崎市高岡郷人会では昨年、先生の命日四月十三日の翌土曜日に青山墓地にある先生の墓参を計画・実施しています。我が家と同じくらいの敷地の広さに、みな驚きました。その敷地では、大きな楠と桜が四つの墓石を見守っています。先生の功績を見守っているようでもあり、日本の医学界そして宮崎県への貢献を物語るようでもあります。

「病氣を診ずして病人を診よ」とは、病人のすべてを感じ見通せる広い視野を持つこと、という先生の教えです。医療関係者に向けた言葉かもしれませんが、すべての職業に通ずることではないかと私は思います。

先生は、宮崎市高岡町穆佐に生まれ、イギリスに留学し帰国後、難病といわれた脚氣の予防法の確立を始めとして、日本の医学界に多大な貢献をされました。そして、東京慈恵会医科大学の創設、日本初の看護学校の創設は、イギリスの優れた医療体系を早く日本へも作り上げたいとする強い意志からであったであろうかと思えます。

実は、東京慈恵会病院の前身の有志共立東京病院の薬

局経営を任された薬局が資生堂であり、現在の株式会社資生堂の前身です。また、帝国生命（現在の朝日生命保険相互会社）創設にも参画し明治二十一年（1888年）三月に創業しました。

また先生が、郷土宮崎に残した偉業の一つが宮崎神宮の大造営です。これは、神武天皇御降臨の祭典を行うことと同時に神宮の建て替えを目的に幹事長に就任し、全国から多額の寄付金を集め、明治四十年（1907年）に完成に至りました。この時に行われたのが現在宮崎県下の大祭である神宮大祭の起源なのです。

これだけの偉業を成し遂げた先生の功績が埋もれてしまったのは、戦後の混乱期と日本国内でドイツ医学を中心とするイデオロギー論争に巻き込まれてしまったことにありました。ひとつの例として、南極には世界的なビタミン学者の功績をたたえ、高木岬という地があります。これが実は高木兼寛先生の業績をたたえ、つけられた名前であることが分かったのは、何と日本国内では後世になってからのことだと聞いています。

このように何十年もの間、闇に埋もれてしまっていた功績を顕彰しようと、地元『高木兼寛顕彰会』ができたのが一九九九年でした。現在は清水英男会長を筆頭に、地元でいろいろな企画を展開されておられます。私も在京メンバーも地元と協力して、失われた時間を顕彰していかなければならないと感じております。

今後も一人でも多くの方々が高木兼寛先生へ興味を持たれ、語り継いでいただけるように活動が続けていきたいと思います。

【高木兼寛顕彰会】

宮崎市高岡総合支所 企画総務課内

〒八八〇一三二九二 宮崎市高岡町内山二八八七

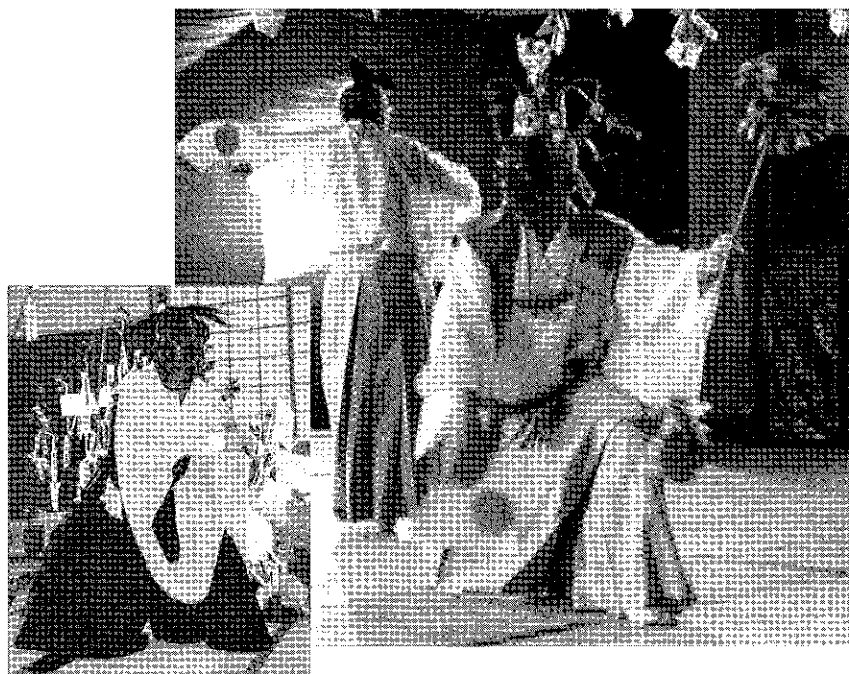
電話 〇九八五・八二二二

「椎葉神楽」の魅力

在京椎葉村人会員 椎葉 花

「今年こそ約束を果たしましょう」これは、椎葉村出身の私たち「三人娘」ならぬ「三婆」（八十四、八十、七十六）の仲間から届いた年賀状の一節です。

約束とは、冬祭り「椎葉神楽」に還りましょう、ということですが、もう何年もまえから今年こそ、と年が明けると固い約束を交わして、未だに果たさないでいます。でも、うっかりすると、もう自分の命の方が間にあわない。今年こそ限界なのだと、気持ちには焦ってしまう。



椎葉神楽は、平成三年に国の重要無形民俗文化財に指定され、現在は村内二十七地区で毎年十一月下旬と十二月の土曜日に、各々神楽三十三番が、徹夜で舞い継がれています。

この私たち三婆は、みなが神楽舞い（ほうりこ）の家に生まれ、乳呑み児の頃から神楽に浸って育ちました。

そんな訳でいつも十一月、十二月の神楽月になると、『間もなくだ、きょうなのだ』と神楽のことを思い続けて暮らしています。それで当日が過ぎると早速故郷に電話して「今年の祭りはどうだったね、振ようたね、手力面（タジカラメン）は誰が舞うたね。しようこん殿は誰がもらったろうか？」など聞かずにはいられません。

村内でも地区により少しづつ神楽の構成は違いますが大字不土野では、最初の「この切り板は何処の匠がつくりし板か」の歌に始まる「板起こし」から三番までの神楽を「式三番」といって大切にしています。

この儀式的な神楽が終わると係りの男性が「只今式三番が終り申した。どの方様も囃子をいれて大いに賑やうてたもうれ」と大きな声で申し渡します。

すると忽ち見物衆は活気づき、会場の片隅から美しい女性の声「こんな寒いのに笹山越えて、ささの露やら涙やら」それに答えるように男の野太い声が「俺とわ様は、蜜柑の接ぎ木、今年やならねど末はなる」ドツと笑い声が湧きます。

「アカギレ足に白足袋けこんで、よう舞う舞うねえホイホイ」「これが一じゃろ名取りじゃろ」「夜ならし日ならしそれぞれにや舞わずば太夫殿はどうするかホイホイ」など、褒めたり貶したり「せり歌」は、中断することもなく飛び交います。

これらの歌はすべて「みこうや」＝神楽を舞う場所の神楽の曲にうまく乗って、神楽舞人も益々調子よく美し

く舞うのです。

昭和五十八年十月早稲田大学で「椎葉神楽公演」があり、私は親戚の若者二人を誘って見学に出かけました。

その時は、村内の榎尾・嶽之枝尾、向山日添、三地区の神楽が紹介されました。大学の広い講堂で拝見した椎葉神楽は「榎尾神楽」の上品さ「嶽之枝尾神楽」の華やかさ「向山日添神楽」の神々しさに、身も心も感動でいっぱいでした。「向山日添神楽」では、大字不土野地区だけに伝わるという「しようこん殿」という曲があり、それは神主が歌いながら、願い出た者に「お宝」＝一夜で醸した酒、を授けるのですが、その時身ぶり手ぶりよろしく舞いながら出て「椎葉の発展、また世界の平和と繁栄に一生懸命尽くします」と口上を述べお宝を貰い受け、それを高々と誇示しつつ舞って退場された舞手さん＝ほうりこ、のお姿を今も懐かしく思い出します。

同行した若者の一人は、東京育ちで、まったく初めて神楽を見たのですが、顔を紅潮させ、目をキラキラさせて、よかったすばらかった、感激だ、と言いつつも「やっぱこれは、こうした舞台でなく、実際に椎葉村に行つて、地元の神楽に参加して、体ごと土地の人と一緒に浸らなきゃ駄だね」と言った言葉とその時の表情が忘れられません。

本当にそうなのです。私もすっかり老いてしまいましたが、何とか元気で今年の椎葉神楽に帰り徹夜で神楽に浸りたいと思っています。どうか在京宮崎県人会員の皆様も、お時間を作って私の故郷椎葉村へ、椎葉神楽見物に、訪れてみて下さい。

そこには昔ながらの、人と人との触れ合いがあり、また人と神との言うにいわれぬ神秘的で、暖かい、生涯忘れ得ない、感動の一夜が待っています。

★郷土関係者 ガンバレ!

《スポーツ》

相撲 内田順一(第三十五代立行司「木村庄之助」)

▼1946年延岡市舞野町生れ(六十三歳) 延岡市出身

「松恵山」(立浪部屋)に行司志望を相談。

▼1962年母ヒデと三月大阪場所へ古里を發ち立浪部屋に十五歳で入門。

▼同年五月前相撲で初土俵。1984年十両格、1994年幕内格、2006年三役格を経て、2007年五月立行司に昇格し(戦後生れ初の立行司誕生)、第三十七代式守伊之助を襲名。

▼2008年第三十五代木村庄之助を襲名。そのデビュー初日、東国原知事より贈られた「宮崎県章」と「延岡」の文字があらわれた模様の行司装束で結びを裁いた(現在もこの装束)。

▼四十八年間の行司生活、「のこったのこったぞ、はつけよいのこったのこったぞ」。「努力を惜しまず、我慢と辛抱を」と説く。また、出身力士のことを聞かれて、「宮崎の人は、のんびり屋ですから、力士に限らず勝負事にはむいてないのではないのでしょうか。土地柄も豊かです。でも、それがまた良いところだと思いますよ」。

▼2008年、延岡市民栄誉賞受賞。延岡市観光大使に任命された。(Y・T)

プロ野球 ◇日刊スポーツ2010年プロ野球選手名鑑◇

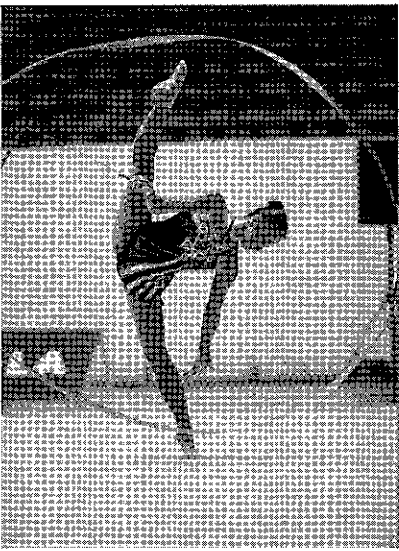
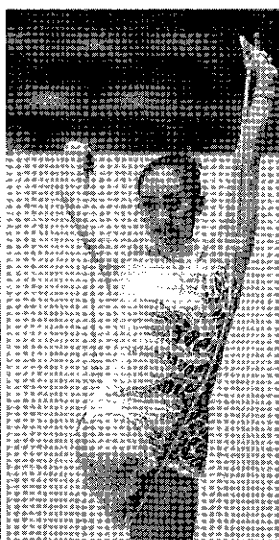
◆西村徳文(福島高) 千葉ロッテ・監督 ◆青木宣親(日向高)・ヤクルト・外野手 ◆草野大輔(延岡学)・東北楽天・内野手 ◆福良淳一(延岡工)・日本ハム・コーチ ◆神内 靖(延岡学)・福岡ソフトバンク・投手 ◆大田原隆太(都城工)・福岡ソフトバンク・投手 ◆井上祐二(都城

高)・千葉ロッテ・コーチ ◆多井久士(都城西)・埼玉西武・コーチ ◆福盛和男(都城高)・東北楽天・投手 ◆田中幸雄(都城高)・北海道日本ハム・コーチ ◆藤岡好明(宮崎日)・福岡ソフトバンク・投手 ◆川崎雄介(宮崎南)・千葉ロッテ・投手 ◆下園辰哉(宮崎日)・横浜・外野手 ◆赤川克紀(宮崎南)・ヤクルト・投手 ◆木村拓也(宮崎南)・巨人・コーチ ◆井手正太郎(日南学)・福岡ソフトバンク・外野手 ◆中崎雄太(日南学)・埼玉西武・投手 ◆赤田将吾(日南学)・埼玉西武・外野手 ◆寺原隼人(日南学)・横浜・投手 ◆有馬 翔(日南学)・福岡ソフトバンク・投手 ◆齋一傑(日南学)・阪神・投手

サッカー ◇日刊スポーツ2010年J1プレーヤーズ名鑑◇

◆興梠慎三(鹿島アントラーズ・FW) ◆増田誓士(鹿島アントラーズ・MF) ◆伊野波雅彦(鹿島アントラーズ・MF) ◆黒木聖二(日章学) セレッツ大阪・MF

新体操 日高 舞さん(宮崎市出身)



▼2008年、2009年「全日本新体操選手権・女子個人総合」優勝。ロンドン五輪の有力候補と注目を集めている。

▼六歳で競技を始め、宮崎東中学校一年生まで宮崎市で過ごした。中学二年、単身上京して安達新体操クラブに所属(コーチ「安達三保子」)。

▼越谷市立南中学校、浦安市立浦安中学校、東京学館浦安高等学校を経て、現在は東京女子体育大学に在学中。

▼2005年、2007年、2009年と三大会連続で世界選手権へ出場。2005年にアゼルバイジャンのバクーで行われた世界選手権では、個人と団体の両方に出場。2008年の全日本新体操選手権では女子個人総合、種目別全四種目制覇の完全優勝を成し遂げる。2009年の全日本新体操選手権には股関節の故障を推して出場し、個人総合二連覇を達成。種目別でもロープ、フープ、ボールの三種目で優勝(フープは大貫由梨亜と同点優勝)したが、最後のリボンで四位に終わり、二年連続の完全制覇を逃した。

▼2003年 第34回全国中学校新体操選手権大会「個人総合優勝。第21回全日本ジュニア新体操選手権大会」個人総合優勝・団体優勝。

▼2004年 第57回全日本新体操選手権大会「個人総合7位。

▼2005年 第20回全国高校新体操選手権大会「個人総合優勝。世界新体操選手権大会日本代表」個人総合122位・団体総合9位)。

▼2007年 第28回世界新体操選手権大会日本代表決定競技会「個人総合49位。

▼2009年 第29回世界新体操選手権大会「個人総合15位。第62回全日本新体操選手権大会」個人総合優勝、種目別3種目優勝。

★KONNE情報

御宮崎県物産貿易振興センター東京支部

副支部長 日 高 大 介

新宿みやざき館KONNEは、平成二十二年四月から、十三年目のシーズンを迎える運びとなりました。これもひとえにオープンからこれまで支えて頂いている県人会の皆様のお蔭であり、感謝申し上げます。

平成十九年一月の東国原知事の就任以降、地方アンテナショップが注目を集めるようになり、KONNEに来て頂く方も大変多くなりました。さすがに知事就任直後のような熱狂は冷めてはいますが、それでもお客様は途切れずに来て頂き、店頭の賑わいは続いております。

二年前に高島屋出身の伊藤義夫館長を迎え、更に今年一月からは、営業課長にいなげや出身の篠崎國夫さんを迎えて営業体制の強化を図っており、お客様目線での店舗づくりを進めております。

最近では、「肉巻きおにぎり」のような新たな名物も誕生し、宮崎の知名度も益々高くなっておりますので、今後とも宮崎のアンテナショップとして、積極的な営業展開を図ってまいりたいと考えております。

【四月以降の店外イベント予定】

- 四月一四日～二〇日 松坂屋上野店「大九州物産展」
- 四月一六日～二二日 三超多摩センター店「九州フェア」
- 五月一二日～一八日 東京都庁全国観光PRコーナー

★あんな話こんな話

日向の国名 景行天皇の十二年に筑紫の熊襲が叛いた。そこで、天皇はご親征なさることになり、十一月には日向にお下りになった。そして十三年の五月悉く熊襲を御平定なさったがなおこの地にお留りなされた。

かくて十七年の三月児湯の郡にお出ましになり丹裳の小野にお遊びなされた。その時、天皇は東の方をご覧に

なり侍臣に「この国の地形は日の出る方に向かっている。」と仰せになった。日向の国名はこの言葉から生れたと伝えられている。(日本書紀)(日向風土記逸文)

(注) 丹裳の小野(にものをぬ) 日向国史は古人の説から「川南付近海岸の高地ならん」といつている。

日向の郡名 日向の国は昔、臼杵・児湯・那珂・宮崎・諸島の五郡であった。昔諸神が集まって地を掘って臼とし、木の枝を杵として搗かれた故に臼杵という。昔火明尊が生まれなされた時、この地の水を産湯とした故に見湯という。昔大穴持命この国を巡りなされ、ここは国の中であるといわれた故に那珂という。昔皇孫がお降りになつてから神日本磐余彦尊までの宮居の地であった故に宮崎という。昔「郷・村・里」の名なくただ「県」(あがた)ばかりであった故に諸県という。

(注) この郡名の語源は日向見聞録によって書いた。県(あがた)は領田(あがた)の意、山河の形勢により境を区分して、田畑を開て耕作した地の称、成務記に「五年九月隔山河分国県」とある。

昭和十四年頃の宮崎県内市町村名

- 宮崎市 宮崎町・大宮村・大淀町・糠村
- 宮崎郡 赤江町・清武村・田野村・生目村・瓜生野村・那珂村・広瀬村・住吉村・佐土原町・木花村・青島村
- 東諸原郡 高岡町・穆佐村・倉岡村・木脇村・本庄町・八代村・綾町
- 南那珂郡 飲肥町・吾田村・油津町・東郷村・鶴戸村・北郷村・細田町・南郷町・福島町・北方村・都井村・市木村・本城村・酒谷村・榎原村

都城市

都城町(宮丸・上長飯・下長飯)・沖水村(高木・金田・川東・郡元・五十市町(横市・五十町))

北諸原郡

庄内町・西嶽村・山田村・中郷村・高崎村・志和池村・高城村・山之口村・三股村

西諸原郡

小林町・野尻村・高原町・須木村・飯野町・加久藤村・真幸村

児湯郡

高鍋町(高鍋町上江村) 富田村・新田村・川南村・都農町・美々津町・木城村・妻町・那於郡村・三財村・三納村・上穂

延岡市

(岡富町・恒富町・伊形村・東海村)

東臼杵郡

富島町・門川町・岩脇村・東郷村・南郷村・西郷村・北郷村・北方村・南方村・北川村・南浦村・北浦村

西臼杵郡

高千穂町・七折村・岩戸村・上野村・田原村・鞍岡村・三ヶ所村・岩井川村・諸塚村・椎葉村

(鈴木健一郎著 神話と伝説シリーズ「日向の伝説」から)

【編集後記】

惜しまれながら日高啓会長が勇退された。心温かいお人柄で長きにわたりお骨折り頂いた。ご苦労さまでした。さて、榎本郁夫新会長のもと「四つの課題」(二頁・就任の挨拶)についての検討会が動き始めており、会員の皆様にお計りしたうえでの実行が急がれるところです。変化が求められる時、昨年の総会では実行委員を女性だけで務め、盛会裏に終えることが出来ました。

「一金会」、「映画鑑賞会」、「ゴルフ会」と若者や女性の参加も目立つこの頃です。

里に民俗文化あり、先人の一人に高木兼寛氏あり、新体操に日高舞さんがある。「宮崎びと」も、先代から現代にわたり各分野で多くの方々活躍しておられる。

わが郷土み・や・ざ・き！ (広報委員会/田原)

在京宮崎県人会

入会希望者をこの紹介下さい

電話/FAX 兼用

03(32222)1448

在京宮崎県人会事務局(月・水・金 十時～十六時)

東京都千代田区九段南四一八一 宮崎県東京ビル